

# 遼寧だより（令和6年8、9月）

## ■ 8、9月の実施事項

8/24（土）	渡航（富山－大連：飛行機） 移動（大連－瀋陽：高速鉄道）	…（1）
8/26（月）	居留許可申請用体格検査	
8/27（火）	瀋陽師範大学入学手続き	
8/28（水）	居留許可申請	
9/2（月）	瀋陽師範大学始業式	…（2）
9/4（水）～9/10（火）	富山県・遼寧省友好県省締結40周年記念 青少年友好訪問団派遣事業	…（3）
9/12（木）	瀋陽師範大学留学生始業式	
9/15（日）～9/17（火）	中秋節の休暇	

### （1）遼寧省到着

8月24日（土）に富山・大連便を利用し、遼寧省へ渡航しました。空港では遼寧省外事弁公室職員の温亮（おんりょう）さんが出迎えてくださいました。大連から瀋陽までは高速鉄道で約2時間かけて移動します。高速鉄道は日本でいう新幹線のような乗り物で、国内の主要都市だけでなく比較的小さな都市にも結び付いています。セキュリティ面が厳しいため、乗車の際には荷物検査と身体検査を受ける必要があります。高速鉄道に乗って移動する頃には既に日は暮れており、外は真っ暗でした。車窓を眺めると、たくさん立ち並ぶ高層マンションやビルの窓から漏れた明かりによってキラキラした光景が広がっており、非常に印象的でした。瀋陽に到着するまでの間、省政府の方と中国語で簡単な会話をするうちに、中国での生活が始まる実感が少しずつ湧いてきました。瀋陽到着後は、寮がある瀋陽師範大学の国際教育学院へ移動しました。



瀋陽師範大学 正門

## (2) 瀋陽師範大学始業式・授業開始

日本と異なり中国では9月から新学期が始まります。会場は新入生含め多くの学生で埋め尽くされ、活気あふれる中、始業式は盛大に行われました。式のあとには新入生を歓迎するため、在校生による歌や楽器演奏、ダンス、京劇などのパフォーマンスも行われました。どの演目も見応えがあり、瀋陽師範大学で過ごすこれからの日々ますます期待がふくらみました。

瀋陽師範大学は遼寧省瀋陽市にある省立の大学で、中国東北部で最も早く設立された教育大学2校のうちの1校です。1951年に前身の東北教育学院が設立され、2002年に遼寧教育学院と統合し、現校名の瀋陽師範大学となりました。現在は、哲学・経済学・法学・教育学・文学・理学・工学・管理学・芸術学の9分野から成る総合大学となっています。校内の敷地は広大で自然に囲まれています。校内の東西南北それぞれの方位に生活区があり、学生たちは各生活区の寮で生活します。生活区には食堂やレストランをはじめ、スーパーや美容院等がそろっており、生活に必要なものはほとんど校内で調達できるようになっています。

富山県からの派遣職員は、外国人留学生を対象とする教育機関である「国際教育学院」に在籍し、中国語研修生として留學生活を送ります。国際教育学院は、1985年に国際文化交流センターとして設立され、2002年に現在の名称になりました。中国語コースの班（クラス）は難易度の高い順に、高級（2クラス）、中級（2クラス）、初級（4クラス）に分けられており、自分のレベルに合わせて中国語を学ぶことができます。私は現在、中級クラスを受講しています。（時間割は下表のとおり）

私の所属するクラスにはベトナム、インド、韓国、モンゴル、ロシア、イタリア、ヨルダン、レバノン、ナイジェリアなど様々な国から来た学生が所属しており、日本人は私のみです。授業中は活発な発言が飛び交っており、中国語を熱心に学ぶ彼らの姿にいつも刺激を受けています。休憩時間や放課後には、学生たちと中国語でお互いの国の文化や言語、趣味など様々な話題について会話をし、交流を深めています。

時間割

	月	火	水	木	金
8:20～ 9:55		中級総合 (文法)	中級総合 (文法)	中級総合 (文法)	中級総合 (文法)
10:10～ 11:45	中級口語 (会話)	中国概況		中級口語 (会話)	中級聴力 (リスニング)
13:15～ 14:50	中級聴力 (リスニング)	中級読解 (読解)		中級写作 (作文)	



始業式の様子



国際教育学院

### **(3) 富山県・遼寧省友好県省締結 40 周年記念青少年友好訪問団派遣事業**

富山県と遼寧省の友好県省締結 40 周年を記念して、9月4日（水）～10日（火）の日程で、県内の高専生や大学生から成る総勢 35 名の青少年友好訪問団が遼寧省を訪問しました。訪問期間中に学生たちは、省内各都市の文化施設や企業などを訪れたり、瀋陽師範大学での文化体験授業を受講したりしました。

大学での文化体験授業では、京劇衣装の着衣体験や砂絵体験などが行われました。体験授業には瀋陽師範大学の日本語学科の学生も参加しており、学生同士で交流しながら中国の伝統文化への理解を深めました。授業後には、友好県省 40 周年を記念して植樹が行われました。

今回の訪問に参加した学生からは、中国の文化により興味がわいた、実際に訪れて初めて知った中国の魅力がたくさんあったといった声がありました。訪問期間の終盤には、交流を深めた日本語学科の学生との別れを惜しむ姿もみられ、限られた期間の中で彼らの間には確かな友情が生まれていました。今回の訪問を通して、両県省の友好の絆はより深まったのではないかと思います。



文化体験授業 集合写真



友好の木を植える学生達